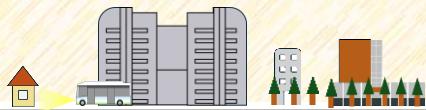


まんけい通信

〒194-0023
東京都町田市旭町2-15-41
町田市民病院 医療連携室
2026年1月 発行



<地域医療交流会の様子>

トピックス

- ①市民病院の医療 外科
- ②地域医療交流会開催報告



市民病院の医療

肝胆膵外科



(左から鈴木医師・會田医師・脇山医師)

きらめない、最善かつ安全な治療を心掛けています。胆嚢結石症をはじめとする良性疾患に対しても、安全で質の高い医療を提供できるよう心掛けています。術後は、定期的に当科でのフォローを行いながら、紹介施設とも協力して患者さんの社会復帰を考えています。

肝切除術や膵切除術など難易度が高い手術も通常通り、大きな合併症なく安全に行い、症例によっては低侵襲手術である腹腔鏡手術も行っています。術前の栄養・運動療法を考慮した肝胆膵外科手術、転移性肝癌に対する化学療法後の積極的肝切除（二期的肝切除を含む）およびborderline resectable膵癌に対する術前化学療法併用手術や切除不能膵癌に対するconversion手術などアップデートな治療も積極的取り組んでいます。今後、ロボット支援下肝切除も視野に入れながら取り組んでいます。



肝胆膵外科は、日本肝臓学会認定施設、日本胆道学会認定指導施設および日本膵臓学会認定指導施設であり、肝胆膵悪性腫瘍に対する手術を年間40例前後、代表的良性疾患である胆石症手術を年間70-90例前後行っている施設です。手術は肝胆膵腹腔鏡手術の経験豊富な會田貴志医師と肝胆膵高度技能指導医の脇山茂樹医師を中心に行ってています。

高齢かつ基礎疾患の多い症例も含めて、けっして症例数は多くないものの、一例一例丁寧に、患者さんが生活に戻れることを目的として、けっしてあ

る。また悪性疾患に対する治療のみならず、安全で質の高い医療を提供できるよう心掛けています。術後は、定期的に当科でのフォローを行いながら、紹介施設とも協力して患者さんの社会復帰を考えています。



肝胆膵領域の悪性疾患に対する治療は外科的切除が主体ですが、これらの悪性疾患は癌の中でも難治であり、病気の進行により切除不能となることも多く、消化器内科医と協力し、早期診断および進行度に合わせた適切な治療を行っています。

また、当科では肝胆膵悪性疾患に対する化学療法も積極的行っており、手術も含めた集学的治療も可能となっています。ゲノム医療については聖マリアンナ医科大学病院、重粒子線治療については神奈川県立がんセンターに依頼する準備も整えています。



<当科で扱う疾患>

肝臓: 肝癌(原発性肝癌、転移性肝癌)、
肝血管腫、その他の肝腫瘍、肝内結石、
肝膿瘍、肝囊胞

脾臓: 脾癌、脾腫瘍(IPMN、囊胞性腫瘍、
内分泌腫瘍)、その他の脾腫瘍

十二指腸: 十二指腸乳頭部癌、十二指腸癌、
その他の腫瘍

胆道: 胆嚢および胆管癌、その他の腫瘍、
胆道拡張症、胆管狭窄症、
胰管胆管合流異常症、
胆石(胆嚢結石、総胆管結石)、
胆管炎、胆嚢炎

脾臓: 脾腫瘍、脾機能亢進症、
脾臓摘出の必要な疾患
(血液疾患、肝硬変)

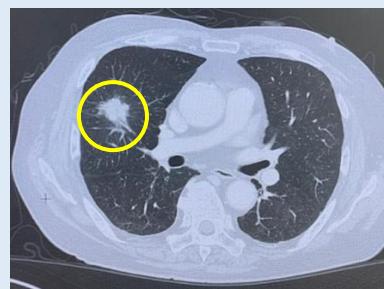
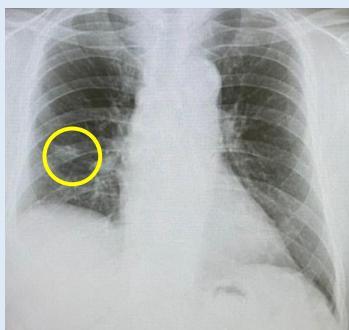
※末期肝不全症例に対する肝移植については、東京慈恵会医科大学病院と連携し対応しております。

呼吸器外科

呼吸器外科がカバーする疾患は、依然として全国の死因1位の肺癌をはじめとし、転移性肺腫瘍や胸壁腫瘍、気胸、膿胸や炎症性肺疾患、縦隔では胸腺腫やその他様々な腫瘍を対象とし、悪性腫瘍、良性疾患、感染症など幅広く対応しております。

2020年4月より呼吸器内科3名の体制が整い、呼吸器・縦隔の手術適応となる症例が増えてまいりました。さらに2021年7月より呼吸器外科1名が常勤として追加となり、定期的に手術及び緊急手術にも柔軟に対応することが可能となりました。

2024年からDa Vinci®によるロボット支援下手術も導入、運用しております。手術については創の大きさが小さい胸腔鏡下での手術を基本とし、症例によっては腫瘍の大きさや部位により開胸で行います。



写真左から [胸部レントゲン 右肺癌]
[胸部CT画像 右肺癌] [胸腔鏡下手術の創部(4ポート)]

- 気胸など肺部分切除のような切除範囲が小さい手術は基本的に1ポート～3ポートの胸腔鏡手術で行っております。
- 肺癌に対しては従来の開胸手術より創の大きさが半分以上小さく、かつ肋骨の切離を必要としない胸腔鏡手術を標準しております。
- 他臓器浸潤や大血管系に関与する症例については、慈恵医大と連携し当院または慈恵医大病院(新橋)で手術を行うことが可能です。
- 市民病院の呼吸器内科及び慈恵医大と協力し、市民の皆様に途切れのないシームレスな医療を提供出来るよう心掛けていきます。

市民病院外科の特徴

当科の特徴としては、10名のスタッフ間で風通し良く、毎日入院患者のカンファレンスを行なながら治療方針を確認し、チーム医療を実践しています。また他職種も加え、週一回手術前カンファレンスを行い、疾患班関係なく情報共有をしています。

我々は、「より良い医療を効率的に多くの患者さんに提供する」をモットーに、患者さんやご紹介いただいた開業医の先生方に満足いただけるよう診療に努めております。

当科では、患者さん及び医療機関から各領域に応じた診療予約を承っております。紹介状を持参し、平日午前中の直接のご来院でも受診は可能ですが、診療状況によって一般外科の医師が初診対応する場合がございます。ご了承ください。
救急患者のご紹介につきましては電話にて
ご相談ください。



←当院外科
ホームページ
はこちら！

地域医療交流会開催報告

ご参加ありがとうございました！

2025年12月11日、近隣医療機関との顔の見える関係をつくり、病診・病病連携の強化をめざすことを目的として、「町田市民病院地域医療交流会」を当病院にて開催しました。

第1部の講演では当院の心臓血管外科、地域連携について紹介をさせていただきました。



心臓血管外科より
「町田市民病院 心臓血管外科のご紹介」

演者：心臓血管外科 部長 ハ丸 剛

対象患者・術式・その後の管理等について専門的な視点で紹介しました。

今年度より常勤医2名体制へ拡充したこと、より安定した手術供給体制を構築しました。循環器内科とも協力し、積極的な患者の受け入れを推進していきます。

地域連携部より
「町田市民病院 地域連携状況報告」

演者：副院長兼地域連携部長 高井 今日子

当院の連携に関するアンケート結果を基に現状と課題について報告しました。

現状の課題は院内で共有し、今後の紹介・逆紹介といった病診連携の強化を図り、地域医療に貢献していく所存です。



第2部の懇親会では当院からは59名、外部からは35医療機関65名の方にご来臨賜りました。顔の見える、貴重な意見交換の場として今年度も対面形式にて開催しました。病病・病診連携構築のため、活発に意見・情報交換がおこなわれ、盛会のうちに終了しました。